



こんにちは！ダイトンです。  
市ではみんなに納めていただいた税金を1年間どのように使ったかを「決算」として明らかにしているよ。  
12月号では、その決算の内容から市の財政状況がどのようになっているのかを一緒に見ていこう！

# 令和3年度 決算 大東の お財布事情

毎年、広報誌の6月号と12月号で市の財政状況をお知らせしています。

## 令和3年度決算

◇表1 令和3年度各会計決算額 (単位:千円)

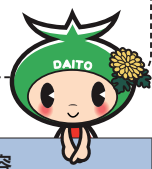
会計名	歳入総額 (A)	歳出総額 (B)	翌年度に繰り越すべき財源 (C)	実質収支 (A-B-C)
普通会計	53,992,970	52,558,780	8,964	1,425,226
特別会計				
一般会計	12,176	9,056	0	3,120
2駅周辺整備事業	19,876	19,876	0	0
国民健康保険	14,971,280	14,219,641	0	751,639
交通災害共済事業	18,057	14,139	0	3,918
介護保険	10,571,607	10,411,416	0	160,191
後期高齢者医療保険	1,829,297	1,805,457	0	23,840
合計	81,415,263	79,038,366	8,964	2,367,934

※合計額について、端数処理の関係から内訳の計と合計が一致しない場合があります

表1、円グラフについて

まずは、入ってきたお金(歳入)と支払ったお金(歳出)の総額を見てみよう。  
表1では、一般会計と6つの特別会計別に歳入と歳出の額を示しているよ。令和3年度一般会計は昨年の10億8,700万円の黒字から大幅に増加し、14億2,500万円の黒字だったんだ。  
ちなみに令和3年度は特別会計も含めた全会計で赤字はなかったよ。  
下にある円グラフで、「一般会計」の性質ごとの使い道を見てみよう。

表2では、「一般会計」の歳出を、目的別に市民1人当たりの支出額に置き換えているよ。令和3年度は子育て世帯などへの臨時特別給付金の給付もあったし、民生費の金額が多くなっていることが分かるね。



◇表2 市民1人当たりの支出

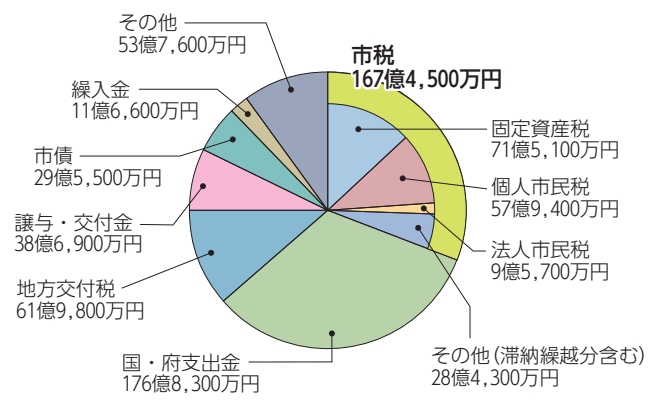
目的	1人当たりの支出額	主な内容
民生費	209,926円	社会福祉(高齢者、障害者、子ども、生活保護など)のための費用
土木費	56,685円	道路、橋、公園などの建設や維持のための費用
総務費	50,663円	市政運営のための事務費や財産の維持管理、選挙などに掛かる費用
教育費	37,916円	小・中学校の施設の整備、文化事業、スポーツ事業などの教育関係の費用
衛生費	33,124円	健康増進、予防接種、環境保全やごみ処理など、健康や衛生環境を保持するための費用
公債費	33,026円	市が建物を建てたり、事業を行う際に借り入れたお金を返す費用
消防費	11,687円	消火活動をはじめ、災害が生じた場合の被害を軽減するための費用
議会費	2,624円	市議会運営に掛かる費用
その他(商工費、農林費)	10,174円	商工業、労働、農林業に掛かる費用
計	445,825円	

※令和4年3月31日現在の総人口(117,891人)で計算しています

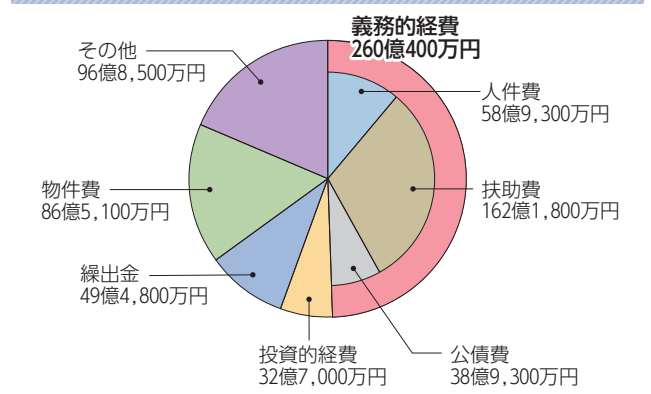
市民1人当たりに使われたお金は  
**44万5,825円**でした。

◇令和3年度一般会計決算内訳

### 歳入(収入) 合計539億9,300万円



### 歳出(性質別に分けた支出) 合計525億5,900万円



※合計額について、端数処理の関係から内訳の計と合計が一致しない場合があります

## 令和3年度健全化判断比率

大東市は全ての指標で基準をクリアしているよ。



		大東市の比率など	早期健全化団体	財政再生団体
実質赤字比率	福祉、教育、まちづくりなどを行う一般会計などの赤字の程度を指標化し、財政運営の深刻度を示すもの。	赤字なし	(12.03%)	(20.00%)
連結実質赤字比率	全ての会計の赤字や黒字を合算し、赤字の程度を指標化し連営の深刻度を示すもの。	赤字なし	(17.03%)	(30.00%)
実質公債費比率	借入金の返済額およびこれに準じる額の大きさを指標化し、資金繰りの危険度を示すもの。	6.5%	(25.0%)	(35.0%)
将来負担比率	一般会計などの借入金（地方債）や将来支払っていく可能性のある負担などの現時点での残高の程度を指標化し、将来、財政を圧迫する可能性が高いかどうか示すもの。	算定なし	(350.0%)	

### 市のお財布の健康診断

財政破綻を未然に防ぐことを目的とした法律（財政健全化法）があって、財政の健全度を診断する4つの指標を、市民の皆さんに毎年公表することが義務付けられているんだ。令和3年度は令和2年度より実質公債費比率は悪化しちゃったんだ。でもこれは、一般会計から繰り出している下水道事業会計において借入金の利率見直しの予定（借換え）があったけど、借換えを行わずに将来負担の軽減のため一括して借入金を返済したからなんだよ。だから市債（借入金）の現在高が昨年度より大きく減ることになったよ。

## 令和4年度各会計の予算執行状況

(単位：千円、%)

会計名	予算額	歳入		歳出	
		収入済額	執行率	支出済額	執行率
一般会計	54,918,729	22,614,597	41.2	20,324,012	37.0
特別会計					
国民健康保険	15,501,504	6,371,843	41.1	5,548,940	35.8
交通災害共済事業	24,915	4,192	16.8	4,796	19.2
火災共済事業	36,638	3,339	9.1	7,177	19.6
介護保険	10,788,569	5,661,806	52.5	4,432,096	41.1
後期高齢者医療保険	1,934,032	657,640	34.0	516,321	26.7
2駅周辺整備事業	19,846	0	0.0	9,926	50.0
合計	83,224,233	35,313,417	42.4	30,843,268	37.1

※予算額、収入済額、支出済額には、前年度からの繰越を含みます

今年度の上半期(9月30日現在)までの予算の動きだよ。



## 市債の現在高

市民1人当たり / 27万2,287円(昨年より5,478円減)

会計区分	令和4年9月30日現在※1	令和3年9月30日現在※2	増減額
一般会計	318億6,100万円	327億9,300万円	▲9億3,200万円
2駅周辺整備事業	1億4,700万円	1億6,700万円	▲2,000万円
特別会計			
合計	320億800万円	329億6,000万円	▲9億5,200万円

※一時借入金の現在高の状況は各会計とも0円です(令和4年9月30日現在)

※1 総人口(117,551人)で計算しています

※2 総人口(118,663人)で計算しています

### 市債って何だろう？

市の借金のことを「市債」と言うよ。借金というよくないイメージがあるけど、そうではないんだ。

みんなが使う公共施設や道路の整備をするときに、全てをその年の税金などで賄ってしまうと、他の必要な仕事やサービスができなくなってしまうんだ。そこで市債を発行して分割払いにすることで、毎年の財政負担を平準化させて世代間の公平性を保ち、ほかの行政サービスなどにもお金を使えるようにしているよ。

## 市の財産

令和4年9月30日現在

土地	976,206㎡(令和4年3月31日より101,540.5㎡増) 増減内容： 行政財産(大東寺川住宅・大東北新町住宅・大東南郷住宅)の大阪府からの取得による増 101,643.81㎡ 普通財産の処分(売払い)による減 103.31㎡
建物	388,258㎡(令和4年3月31日より95,807.79㎡増) 行政財産(大東寺川住宅・大東北新町住宅・大東南郷住宅)の大阪府からの取得による増 95,807.79㎡
財政調整基金	49億5,900万円(令和4年3月31日より2億3,800万円増)
その他の基金	162億6,600万円(令和4年3月31日より17億6,800万円増)

### 基金ってどういうもの？

市の貯金のことを「基金」と言うよ。基金には、使い道が決まっている特定目的基金と、財源不足を補う財政調整基金があるよ。

特定目的基金の中には公共施設や学校、市営住宅などの整備や、学校教育のためなどさまざまな目的のための基金があるんだよ。その中でもふるさと振興基金は災害対策や子育て支援の充実、まちづくりなどさまざまな市民サービスの向上に使われているんだ。

## これからも健全な財政運営を行います

市ホームページの財政課のページでは、中期財政収支見通しや、全国レベルで財政状況を比較した「財政状況資料集」など、より詳細な資料を掲載しています。ぜひご覧ください。

圖財政課 ☎ 870・0405

